

大人も子どもも 読書キャンペーン

家庭・学校・地域で本と親しもう！

- 乳児期** 市町村のブックスタートや読み聞かせ会などの機会を利用して、絵本の読み聞かせをしましょう。
- 幼児期** 保育所、幼稚園等と連携して、家庭での読み聞かせを行いましょ。
- 学齢期** 多くの学校では朝の読書に取り組んでいます。家庭でも家族で読書する習慣をつけましょう。
- 中高生・大人** 自分にあった本を選んで読みましょう。そして、みんなで読書を楽しみましょう。

朝の読書や家庭での読書の一層の推進を図るため、読書環境を整え、本の好きな子どもを育て、大人も子どもも本に親しむことができるようキャンペーンを展開します。



ホームページにキャンペーンの取組みを順次掲載していきます。

<http://www.pref.tottori.lg.jp/okdcampaign>

読書活動リレーコラム

学校、図書館、読書関係団体の活動の様子を紹介します。

「わたしのおすすめの本」「わたしの思い出の一冊」

子どもたちへのおすすめの本、思い出の一冊とその本に関するエピソードを紹介します。

*その他、様々な情報を紹介していく予定です。

学校評価の取組みについて

「学校評価」とは？
よりよい学校づくりのために、教育活動や学校運営の状況が「めざすべき目標」に近づいているか、振り返る活動です。

鳥取県では、学校評価(自己評価と学校関係者評価)の実施とその結果の公表をとおして、学校・家庭・地域の連携協力による魅力ある学校づくりを進めています。

特に、「学校の積極的な情報提供」や「学校関係者による評価」によって、学校・家庭・地域間のコミュニケーションが深まり、保護者や地域に開かれた学校づくりが進むよう取り組んでいるところです。

自己評価 教職員による評価

...保護者等へのアンケートなども参考にしながら、学校の教育活動や運営などについて評価していきます。

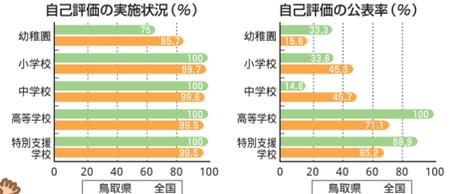


学校関係者評価 (外部評価)

保護者・地域の方などによる評価
...学校関係者評価委員会(外部評価委員会)で自己評価の結果について評価します。

自己評価の結果の評価 → 教職員との共通理解 連携・協力

公立学校における学校評価(自己評価)の実施状況(平成18年度)



鳥取県の県立学校においては、H18年度から全ての学校で取り組んでおり、外部評価も含めて一層の質の向上に努めています。
幼稚園や小・中学校では、H20年度から自己評価が義務化され、結果の公表(学校だより、ホームページなど)を積極的に進めています。

みんなで考えよう！ 子どもの「食」と「心と体の健康」 ～食育の推進～

子どもたちが豊かな人間性をはくみ、生きる力を身につけていくためには「食」が重要です。
「食育」とは、さまざまな経験を通じて得られる食に関する正しい知識を身につけ、食を選択する力を習得し、自らの食生活を考え、望ましい食習慣を身につけることをいいます。そのため、学校・家庭・地域が連携・協力しながら食育を進めていきましょう。

「食育」の重要性

朝食をしっかり食べることが学力や体力に良い影響を与えていることや、健全な食習慣が子どもたちの心の安定やコミュニケーション能力を高めるなど社会性にも影響を及ぼすことが様々な調査からわかっています。

このようなことから、「食育」は心と体の成長及び人格の形成に大きな影響を及ぼすものなのです。

食に関する指導の実践例(伯耆町)

栄養教諭が中心になって行っている取組みを紹介します。

- ①給食だより等で食材や食品、健康に関する内容を情報発信
- ②学校と家庭が連携した朝食推進運動の展開
- ③食生活や保護者の食に対する意識アンケート
- ④食事のマナーや朝食の重要性などをプリントしたクリアファイル配布による啓発活動

- ①学校支援ボランティア・地域活性化委員との交流給食の実施
- ②公民館活動と連携した料理教室の開催
- ③公民館高齢者教室での食育講演会(子どもの食育の重要性について)の開催

このような取組みを通して

- 食育推進の重要性を保護者や地域の人たちと共通理解ができた。
- 食に関する指導や親子料理教室、交流給食などを通して地域との関わりが深まった。

子どもの心や体の健康を育む食卓!

あなたのおうちの食生活をチェックしてみましょう!

Check

- 朝ごはんは家族全員が食べていますか
- 家族の健康を考えた食事となるよう注意していますか
- 食事の準備や片付けなどはみんなで協力していますか
- 子どもに調理体験をさせていますか
- 「いただきます」「ごちそうさま」のあいさつはできていますか
- 食事のマナー、箸の持ち方など食卓でのしつけはできていますか
- 食卓が安らぎの場になっていますか

9月12日の「とっとり県民の日」学校給食は...

鳥取県の特産品や地元の食材を献立に盛り込んでいます。学校給食をとおして、各地域の産物が気候や風土と深く結びついていることや、昔から伝わる料理や季節・行事にちなんだ料理があることを知ることが、食育の目標の一つです。

～企業・事業所の協力による家庭教育支援の取組み～ 家庭教育推進協力企業制度

企業・事業所で働いている保護者の皆さんが子育てしやすく、また子どもたちを健やかに育てる地域活動に参加しやすい職場環境づくりのために、現在139社が取り組んでいます。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。 <http://www.pref.tottori.lg.jp/kigyoseido>

- 学校へ行ってみよう**
参観日等の学校行事への参加の働きかけや、休暇が取りやすい職場環境づくりの取組み
小学校の授業風景
- 仕事を語ろう、仕事を見せよう**
子どもたちによる親の職場訪問等の取組み
倉吉酒類販売株式会社「子ども参観日」
- 子どもの体験活動をひろげよう**
親子や家族で参加する自然体験活動や地域活動の実施
鳥取瓦斯株式会社・鳥取瓦斯産業株式会社「鳥取市安曇森公園での「とっとり県民の日」参加」
- 我が社の子育て支援**
取組例:家庭教育研修会の実施、中高校生の職場体験学習の受入、学校への出前授業や教育活動への支援、地域での子育て支援事業
企業独自の子育て支援策
残業時間削減と地域活動への参加を奨励、育児のための短時間勤務制度、子どもの看護休暇制度の導入等
ビューティサロンげんきほさす「店内に絵本コーナー設置」

協力企業として取組んでみませんか。【申込み・問合せ先】家庭・地域教育課 0857-26-7521

エキスパート教員認定制度

エキスパート教員認定制度とは?

- 子どもたちの学力向上には、教員の指導力が大きく影響します。
- 他の教員のモデルとなるような優れた教育を行っている教員を「エキスパート教員」として認定し、その優れた指導力を普及させていくことにより、教員の指導力向上を図ることをねらいとしています。

エキスパート教員の職務内容は?

- 所属する学校の教科指導等に関して、専門的な指導・助言を行ったり、地域の学校の研究会等において助言を行ったりするなど、優れた指導力の普及に努めます。
- 各教科等に関する教育課題解決のための教育研究(提案授業等)を行います。

本年度は、平成21年度から始める「エキスパート教員認定制度」に向けての試行を実施しています。

平成20年度エキスパート教員認定者

小学校	4名	中学校	3名	高等学校	3名	特別支援学校	1名
鳥取市立岩倉小学校 教諭 大石 真理 (学級経営)		鳥取市立北中学校 教諭 伊藤 浩三 (音楽)		鳥取東高等学校 教諭 福島 卓也 (英語)		皆生養護学校 教諭 岩田 光冬 (自立活動)	
琴浦町立浦安小学校 教諭 山根三千代 (算数)		倉吉市立河北中学校 教諭 小谷 敏彦 (音楽)		倉吉東高等学校 教諭 竹歳 真一 (数学)		()内は認定分野	
境港市立余子小学校 教諭 坂井 明美 (国語)		境港市立第二中学校 教諭 中村 将人 (保健体育)		米子白鳳高等学校 教諭 藤原真二郎 (国語)			
伯耆町立岸本小学校 教諭 神庭 賢一 (理科)							

●試行認定のため、認定期間は平成20年度末までです。
●試行認定では、所属校での日々の授業公開を中心に行います。

学校で! 家庭で! 博物館がさらに身近に

博物館のホームページが見やすく、使いやすくなりました

博物館のホームページを一新し、学校教育の中で博物館をより活用していただくためのコンテンツ「学校のための博物館利用ガイド」を新設しました。

トップページの大型バナーからすまやかに移動できます

「鳥取県立博物館」トップページ <http://www.pref.tottori.jp/museum/>

「学校のための博物館利用ガイド」トップページ http://site5.z-tic.or.jp/p/museum/school_local/school/

- 博物館見学や館内での授業など、学校が博物館を利用する上でのさまざまな利用方法や支援等について紹介
【久松小学校】復元された民家の中で学習。電気や水道のない時代の人々の生活はどんなだったのでしょうか。
- 移動博物館や学芸員派遣など博物館が学校や野外活動先に向いて行う学校支援やその利用方法などを紹介
【鳥取大学附属小学校】社会科の授業。土器の質感はどうでしょう。
- 小学校(国・理・社)、中学校(理・社)の教科書に出てくる事項に対応する常設展示や博物館資料などを紹介
- 県教育センターと連携して実施する教員向けの「教職員専門研修講座」を紹介

「教科書に出てくる博物館資料」を家庭でも活用しませんか?

- 例えば
- 「古い道具と昔のくらし」の「ランプ」や「いろり」はどんなものだろう。(小学校社会3・4年)
 - 「かさこじぞう」の「すげがさ」はどんなものだろう。(小学校国語2年)
- 教科書に出てくる事柄のうち、博物館の常設展示などで見られる資料を家庭のパソコンから調べられます。是非、御活用ください。